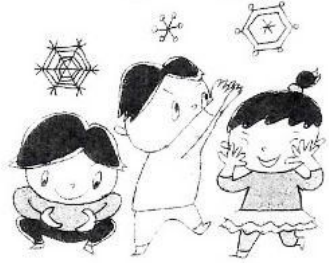


ゆりかご

2021.6.1

園だより



2期のねらい
からだづくり活動を通
じて子ども関係の質を高めよう

先月、急遽休園となり、保護者の皆様には大変ご心配をおかけし、申し訳ありませんでした。

幸い3時間ほどの休園で再開できましたが、この感染状況はまだまだ気

を緩めることができません。今後も感染防止に努めたいと思います。

感染防止対策として、2階クラスの子どもの送迎を8:00~18:00の時間帯は、玄関での受け渡しを実施してみました。特に2歳児は今までとの違いに戸惑いを見せる子もいましたが概ね混乱もなく、又、玄関での密集も心配していたほどではありませんでした。玄関での受け渡しは感染防止の観点だけでなく、子どもの自立を促すという見方もできます。確かに今まで大人の手を借りて(というよりや、てもらうのが当たり前)、身の回りのことをしていた子たちが自分で身仕度する必要に迫られます。特に5歳児は生活習慣の“自立から自律”へと大きく変わっていく年齢でもありますし。

コロナに関係なく、すでに玄関での受け渡しを行っている園も多いようですが、ゆりかごの場合は、特にお迎え時にわが子が友達とあそんでいる様子を保護者の皆さんにも見ていただきたいと思うし、保護者同士の雑談も大事にしたいと思っています。(駐車場並んでるよ~と急かすこともあります...)そして、保育の様子もオープンにし、保育者の子どもへのかかわりも知ってほしいと思うのです。

私もずーっと前ですが保育士時代、子どもへの対応に「疑問がある。なぜ先生はあのようなことばをかけたのか?」と保護者に言われたことがあります。直接言っていただけのことをとってもありがたく思いました。采月は〇〇ちゃんに、こんな原復いをもっているから、こういう意図をもって働きかけた」と伝之ると、「そういうことだったのか」と納得していただけました。疑問をぶつけてくれたことで、自分の伝之方の未熟さを反省できましたし、「次はこうしよう」と努力することができました。

朝夕の保育に保護者の目加わることは、保育の質を高め、保育者を鍛えてくれる機会にもなっているように思います。玄関での送迎を一時的なものにするか、今後も続けるか...迷うところです。